

令和6年度

一般会計補正予算
(第1号)

実施計画書

実施計画書（補正予算）

事業名		交通政策事業費		枝番		単位事業名		
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号	
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）						
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%				
	個別計画							
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを					
実施主体	養父市		担当課	まち整備部 土地利用未来課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	補正予算	
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目 6 企画費	
根拠法令等	補助金交付要綱策定予定							
事業目的	対象	養父市民等						
	背景と目的	急速に過疎化が進む兵庫県養父市関宮地域において、交通はもとより、医療・福祉サービスなど多くの生活サービスが近い将来維持できなくなると予想されることから、まちの中心部へ持続可能なコミュニティ機能等を集約する取組「関宮地区小さな拠点づくり」に合わせ、拠点を中心とした新たな交通体系の再構築を目的に、国の『共創・MaaS実証プロジェクト』を活用し、関宮地域においてデマンド交通の実証実験を行う。						
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>関宮地域におけるデマンド交通実証実験を令和5年度に引き続き行うものである。</p> <p>本事業は国土交通省所管の補助事業である『共創・MaaS実証プロジェクト』を活用し、全但バス（株）が事業主体となり養父市や（一財）日本自動車研究所、NPO法人但馬を結んで育つ会などの共創によって実施するものであるが、関宮地域での高齢者や免許返納者等の移動手段の確保・利便性向上を図る目的で行う公共性の高い実証事業であることから、国からの補助額を除いた全但バス（株）負担額の一部に対し養父市が補助を行うもの。</p> <p>【歳出】 補助金3,191千円</p> <p>○総事業費：20,573千円 （内訳：国庫補助金15,382千円＋事業者負担額5,191千円）</p>						
区分	既決予算額（千円）	補正予算額（千円）		予算総額（千円）				
事業費	339,209	3,191		342,400				
財源内訳	一般財源	164,487	3,191		167,678			
	国支出金	174,500	0		174,500			
	県支出金	0	0		0			
	地方債	0	0		0			
	その他	222	0		222			

実施計画書（補正予算）

事業名		物価高騰対応重点支援給付金給付事業費		枝番	単位事業名	定額減税に伴う調整給付金給付事業		
まちづくり計画	柱	「市民」_アクティブに自分らしく暮らすまち					ページ番号	
	施策	1-2_生涯健康的に過ごすことができる環境（健康福祉）						
	10年後の数値目標①	転入者数 630人	10年後の数値目標②	養父市に住み続けたいと思う人の割合 90%				
	個別計画							
	横断的行動指針 (SDGs)	1	貧困をなくそう	8	働きがいも経済成長も			
実施主体		養父市		担当課	健康福祉部 社会福祉課			
会計区分		一般会計				当初補正区分	補正予算	
予算費目		款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	
根拠法令等		養父市要綱（定額減税に伴う調整給付金給付要綱）						
事業目的	対象	対象人数4,350人想定						
	背景と目的	納税者及び配偶者を含めた扶養家族に基づき算定される定額減税可能額が、令和6年度の課税情報を基に推計所得税額又は個人住民税所得割額を上回る者に対し、当該上回る額の合算額を基礎として、1万円を切り上げて算定した額を支給する。						
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>納税者及び配偶者を含めた扶養家族に基づき算定される定額減税可能額が、令和6年度の課税情報を基に推計所得税額又は個人住民税所得割額を上回る者に対し、当該上回る額の合算額を基礎として、1万円を切り上げて算定した額を支給する。（1人：所得税は3万円、住民税は1万円の計4万円×（本人+配偶者+扶養親族）＝給付金） 対象人数4,350人想定</p> <p>【歳出】 定額減税に伴う調整給付金給付事業 ○事務費（7,261千円） 報酬249千円（会計年度任用職員報酬249千円）、旅費7千円（費用弁償（会計年度任用職員）7千円）、需用費297千円（印刷製本費228千円、消耗品費69千円）、役務費1,272千円（郵券料1,272千円）、負担金5,436千円（南但広域行政事務組合負担金5,436千円（システム構築費用、朝来市と按分12,000千円×45.3%）） ○事業費（195,420千円） 扶助費195,420千円（4,350人想定×平均45千円想定）</p> <p>【歳入】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金</p>						
区 分		既決予算額（千円）		補正予算額（千円）		予算総額(千円)		
事業費		0		202,681		202,681		
財源内訳	一般財源	0		0		0		
	国支出金	0		202,681		202,681		
	県支出金	0		0		0		
	地方債	0		0		0		
	その他	0		0		0		

実施計画書（補正予算）

事業名		道路橋りょう補修事業費		枝番		単位事業名			
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち					ページ番号		
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思ふ人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	13	気候変動に具体的な対策を				
	11	住み続けられるまちづくりを							
実施主体	養父市		担当課	まち整備部 建設課					
会計区分	一般会計					当初補正区分	補正予算		
予算費目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2	道路橋りょう維持費		
根拠法令等									
事業目的	対象	天滝を訪れる観光客							
	背景と目的	<p>【天滝8号橋復旧工事】 天滝8号橋については、橋台補修を行うなど観光客等が通行できるよう仮復旧を行っているが、状態としては盤石とは言えず、想定以上の負荷がかかれば崩落の危険性がある。そのため、早急な本復旧工事を行う必要性が生じている。</p>							
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>【天滝8号橋復旧工事】 観光客等の安全安心な通行を確保するために本復旧工事を行う。 L=12.0m、W=1.0m、鋼橋</p> <p>【歳出】 委託料（測量・設計） 1,500千円 工事請負費 17,300千円 歳出合計 18,800千円</p> <p>【歳入】 地方債（過疎対策事業債） 17,800千円</p>							
区分	既決予算額（千円）		補正予算額（千円）		予算総額（千円）				
事業費	505,000		18,800		523,800				
財源内訳	一般財源	9,900		1,000		10,900			
	国支出金	272,200		0		272,200			
	県支出金	0		0		0			
	地方債	222,900		17,800		240,700			
	その他	0		0		0			